

大石 航平 前川 未来



脇元 真由美 小幡 厚子

天龍村きりんちゃん月記 小幡厚子(季輪)

ありが隊新聞

最近の小幡は木の皮を剥ぐ作業をさせて頂くことが多い、新しく天龍村にできる体育館に据えられる予定の柱や、中井侍に作成中の柚子の木の、ツリーハウス(デッキ)の支柱の皮を剥ぐ作業などをさせて頂いています。

力マを使って厚い一番外側の皮を剥いていくのですが、体育馆の柱は、傷をつけてはいけないので、刃が深く入らないように気を付けながらの作業で、思うように進まず、出来上がるのか不安でしたが、刃が作業するようになってからは、水の勢いでどんどんと皮がむけていくので、楽しくて夢中になつて作業させて頂きました。今は仕上げの作業にはいつています。

一人黙々と作業をしていると、風の音やお日様の暖かさ、遠くからキツツキが木をつつく音や、向かいの杉の木をリスのカップルが楽しそうに駆け回る姿や、小さな鳥たちが私の作業を覗き来たりと、都合では決して味わうことのできない、ここにいるだけで癒されていくような感覚がとても心地よいです。

私の尊敬する方のおひとりで、富士山のふもとで、現診療所と宿泊施設を営んでいる医師の山本竜隆先生が、代人が体調を崩し、病気のなる1つの原因是、自然が不足することでおきる「自然欠乏症候群」だとおっしゃっていました。それを思い出しました。

「医学の祖」と呼ばれている古代ギリシャの医師「ヒポクラテス」も「人間は自然から遠ざかるほど、病気に近づく」という言葉を残しています。

都会の、特に子供たちには、自然とふれあう機会を沢山もつてもうえたらと思います。将来、ファミリー向けの里山講座とかもできたらいいなと思っています。

寒い日が続いているですが、皆様お元気でお過ごしですか?

最近の小幡は木の皮を剥ぐ作業をさせて頂くことが多い、新しく天龍村にできる体育館に据えられる予定の柱や、中井侍に作成中の柚子の木の、ツリーハウス(デッキ)の支柱の皮を剥ぐ作業などをさせて頂いています。

力マを使って厚い一番外側の皮を剥いていくのですが、体育馆の柱は、傷をつけてはいけないので、刃が深く入らないように気を付けながらの作業で、思うように進まず、出来上がるのか不安でしたが、刃が作業するようになってからは、水の勢いでどんどんと皮がむけていくので、楽しくて夢中になつて作業させて頂きました。今は仕上げの作業にはいつています。

一人黙々と作業をしていると、風の音やお日様の暖かさ、遠くからキツツキが木をつつく音や、向かいの杉の木をリスのカップルが楽しそうに駆け回る姿や、小さな鳥たちが私の作業を覗き来たりと、都合では決して味わうことのできない、ここにいるだけで癒されていくような感覚がとても心地よいです。

一人黙々と作業をしていると、風の音やお日様の暖かさ、遠くからキツツキが木をつつく音や、向かいの杉の木をリスのカップルが楽しそうに駆け回る姿や、小さな鳥たちが私の作業を覗き来たりと、都合では決して味わうことのできない、ここにいるだけで癒されていくような感覚がとても心地よいです。

寒い日が続いているですが、皆様お元気でお過ごしですか?

最近の小幡は木の皮を剥ぐ作業をさせて頂くことが多い、新しく天龍村にできる体育館に据えられる予定の柱や、中井侍に作成中の柚子の木の、ツリーハウス(デッキ)の支柱の皮を剥ぐ作業などをさせて頂いています。

力マを使って厚い一番外側の皮を剥いていくのですが、体育馆の柱は、傷をつけてはいけないので、刃が深く入らないように気を付けながらの作業で、思うように進まず、出来上がるのか不安でしたが、刃が作業するようになってからは、水の勢いでどんどんと皮がむけていくので、楽しくて夢中になつて作業させて頂きました。今は仕上げの作業にはいつています。

一人黙々と作業をしていると、風の音やお日様の暖かさ、遠くからキツツキが木をつつく音や、向かいの杉の木をリスのカップルが楽しそうに駆け回る姿や、小さな鳥たちが私の作業を覗き来たりと、都合では決して味わうことのできない、ここにいるだけで癒されていくような感覚がとても心地よいです。

素晴らしい暮らし

	年	平均気温	平均 / 最高気温	平均 / 最低気温
3月下旬	2018年	9.5	18.7	2.7
	2019年	7.8	14.9	1.9
	2020年	9.4	16.5	3.3
	2021年	11.2	19.6	4.5
4月上旬	2018年	12.3	20.0	5.4
	2019年	7.9	16.0	1.3
	2020年	9.8	17.7	2.5
	2021年	12.1	19.6	5.6
4月中旬	2018年	13.1	20.5	6.8
	2019年	10.9	18.8	4.3
	2020年	10.7	17.4	4.9
	2021年	11.4	18.6	5.1

	年	平均気温	平均 / 最高気温	平均 / 最低気温
6月下旬	2018年	22.1	28.9	17.4
	2019年	21.9	27.4	17.7
	2020年	22.0	28.1	18.4
	2021年	21.6	28.0	17.1
7月上旬	2018年	23.7	29.2	19.3
	2019年	22.1	27.3	18.9
	2020年	21.1	24.8	18.2
	2021年	22.2	25.9	19.9
7月中旬	2018年	28.1	35.4	22.7
	2019年	22.1	26.9	19.4
	2020年	22.2	27.6	18.6
	2021年	24.4	32.5	19.1

足を目指す私には、必須の作物。長期保存ができ、収穫したジャガイモを次の種芋にすることができ、金銭的コストも下がります。

発芽・生育の適正温度は15°Cから20°Cなので、理想は霜と高温時期を避け、3月下旬から植え付け開始、7月中旬までに収穫でしょうか? 今日は初めての場所に植え付けるので、リスの種芋を3週間に分けて植え付ける予定です。

栽培は簡単な部類にはいるのですが、前回は葉を食べられ失敗してしまいました。畑では虫に食被害を受けたので、テントウムシダマシが嫌がる香りをだすといわれています。トウモロコシをよく見かけたので、テントウムシダマシが嫌がる香りをだすといわれています。トウモロコシを一緒に植えてみようと思ひます。ふかしいも、ボテトサラダ、にくじやが、カレーにクリームシチューとなくてはならない食材です。植える前から食べるのが楽しみです。

(記
片山 素晴)

日々こくしん

つい先日、二〇二一年がスタートしたぞ、と思つていたら、あつと
いう間に一ヶ月が経ちましたね。二月も寒い日が続いておりますが、
皆さまいかがお過ごしでしょうか？体調など崩されてはいませんか？
コタツとストーブと毛布、そして何よりもお日様の陽射しを、毎日
毎日恋しいと思う今日この頃です。

この冬は全国的に例年にも増して寒く雪の多いシーズンとなりました。出会う方々とお話をしていると、天龍村も例に漏れず、寒くて雪がよく降り、「大当たり！」な冬なのだなということが分かります。一年にして大当たり。とても光栄です(笑)

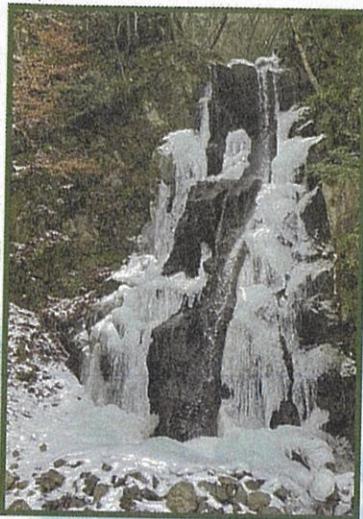
なかなか険しい今季の天龍村ですが、やまびこデリで配達をしていると、同じ村内でも地域ごとで、まるで別世界かのような景色に出会えてとても楽しいです。もちろん恐怖を感じることはありますが、カーブを曲がつたら急にどっさり雪！だつたり、きれいに快晴で道には雪が残つていなくても、木に積もった雪が風に吹かれてキラキラ舞い散つて、いたり、やはりワクワクしてしまいます。とはいっても、一ヶ月ほど、配達が終わつた後にものすごく肩の力が抜ける感覚があるので、きっと自分でも意図しないうちに緊張しているんだと思います。皆さんにご注文いただいた大切な商品と、大切なもう一人の配達員を乗せ、無事に笑顔で皆さんのお家までお届けできますように。

もうここ数か月毎月のように言つていますが、とにかく『安全第一』で、頑張つていきたいと思います。いつもたくさんのお気遣いの言葉、温かい言葉をかけていただき、本当にありがとうございます。お陰様になつてしましましたが、春の訪れが明るい日常を連れてきてくれることを期待して、三月も変わらず元気に走り続けようと思ひます。

おまけ

大迫力の芸術
瀬戸かつら大滝

文・前川 未来



【報告】



脇元まゆみ→加藤まゆみになりました。

私事で恐縮でございますが、先月26日に入籍しまして名字が変わりました。村での活動生活は変わらず続けて参りますので…今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

私の天龍村での1月は、3日の向方おきよめ祭りに始まり、翌週のどんど焼きと村の行事に参加させて頂いて村の季節を感じています。1月後半から2月にかけては、協力隊の篠田君が作成している中井侍のツリー・ハウスの現場に微力ながらお手伝いに行かせてもらいました。

（天竜川を望み、茶畠の中のツリー・ハウスはとても素敵です）



醤油づくり（搾り）も見学させて頂きました。

さて、活動のPR動画は年度内の完成に向けてのお手伝いとメイキング映像は第4弾をSNS（ユーチューブなど）や村のケーブルテレビにも配信いたしました。今後はプロの方々の撮影やレコードティング風景も順に配信して参りますので、楽しみにしていてください。
このPR動画内にお手玉唄が収録されます・実際にお手玉も作つて村の皆さんとお手玉もできたらと思ってます。作るのも、遊ぶのも・チクチク一緒に縫つて下さる方も探してます。よろしくお願いします。PR動画の完成上映会は、3月17日に憩の家（向方）にて行う予定ですので併せてよろしくお願ひ致します。
それと、村の皆さんのお役に立てる」とつて何？と思つてて…近所の方や御用聞きの同行にて感じたことで、高齢の方々のお家でのお手伝い（お掃除、窓ふき、重い物の片付けなど）はできないかと考えています。今後、どういう形で出来るかも思案中です・また、ご報告いたし

天龍村の活動報告

【如何】

報告者：松川友哉



●「J」報告
春からお借りする家の片付けを進めています。

お借りする家は、南上の板倉昌子さんの住宅をお借りします。妻と、長男（5歳）、長女（2歳）六月に3人目が産まれる予定です。家族で天龍村にお世話になります。皆様よろしくお願ひします。

●「J」連絡

現在、和知野川キャンプ場は休業中です。来年度以降の計画を考え実行していくための時間に充てて参ります。

●「J」相談

引き続き村内を回らせていただきます。キャンプができるような場所をウロウロしたいと思います。よろしくお願ひします。

（松川携帯：090-4549-3223）

● 和知野川キャンプ場売店 営業日：土・日・祝
営業時間：午前9時～午後6時
村内のお茶・肉・野菜・氷・キャンプ用品など販売中



満島神社の節分祭を見学させていただきました



坂部の神事に参加させていただきました



大久那の平畠へお話をありがとうございました

歴史の意義とは

まとめた天龍村中世の歴史の回覧配布と並行しながら、天龍村の近現代の歴史も来年の回覧配布を目標にまとめていきます。

政治学者の中島岳志はその著『リベラル保守宣言』のなかで注目すべきことに言及しています。『優れた老舗は、過去や現状に対する頑迷な守宣誓』の執を捨て、伝統に依拠した斬新的な改良を

天龍村歴史まとめについて

雪が積もる厳寒の毎日で、わたし自身、積雪の経験があまりないために慣れない毎日を送っています。二月の活動としましては、来年の天龍村近現代の歴史の回覧配布を目指に、天龍村近現代の歴史をまとめる活動を行いました。

進めていきます。もちろん同じモノを作り続けることは重要なことです。しかし、時に新しい試みを取り入れ、時代の変化に対応することもまた重要なものです。このチャレンジは、新しいものに見えてまったくの新しいものではありません。表層的な新しさの深部には、歴史的に積み重ねてきた技法が潜んでいます。先代から受け継いできた無形の伝統が内化しているからこそ、新しい挑戦が可能になるのです。

ここで言及されている「無形の伝統」を言説化することこそ歴史といつた学問の特徴なのです。ではいかと思いま

年明け早々から、新規の飲食店さんからお茶の大量注文もいた
だき、好調な滑り出し�となりました。

一月後半からはツリーハウス作りを再開しました。重機が入
ない場所での作業で肉体労働、体力勝負のような感じで大変でし
たが、一気に土台が完成するところまで進める事ができ、二月の
週末には普段作業に来られない方にも作業に参加いただきツキ
を完成させる事が出来ました。茶摘みまでに最低デツキだけでも
作りたいと思つていたので間に合つてホツとしています。そこで
茶摘みの休憩をしたり、茶摘み体験ツアーで手揉み製茶をしたり
するのが今から楽しみです。

平地がないところで場所の選定にも悩み、業者に見積もりを
とつたら七十万円となつたりと挫けそうになることもあります
が、多くの方のご協力のもと価格を抑えて自分たちで作り上げる
事が出来ました。また、



土砂崩れの修復のプロ
ジェクトの一環として
クラウドファンディング
でご支援いただき、
進める事が出来ました。
ご支援いただいた皆様、
ご協力いたいた皆様
に御礼申し上げます。

これから階段を付けた
り、テー・ブルやベンチ、
遊具なども作り、ツ
リー・ハウスとしてはこ
れからも成長を続けて
いきたいと思いますの
で作業にご興味のある
方はぜひお声掛けくだ
さい。

～裏山探検日和～

まだまだ寒い日が続きますが、皆様如何お過ごででしょうか。

寒い寒いとも言ってられませんが、私は試しに庭でキャンプをしてみました。

防寒対策をしっかりとすれば意外とテントの中は快適でした。

テントの近くまでやって来る動物の気配を感じ、日暮れとともに活動するフクロウの声を聞くなど、贅沢な時間を一人楽しんでいます。

話は変わりまして、私は、公益財団法人日本自然保護協会の自然観察指導員に登録されています。

自然保護協会の主な活動は、絶滅危惧種の保護や里地のモニタリングなど多岐に渡っており、その中で指導員の役割は、「自然観察から自然保護に地域で取り組み、次世代に引き継いでいく」とされています。

現在の状況下ですと、人が集まることが憚られる社会情勢となってしまいま
したが、今できることを地道に無理なく行っていこうと考えています。

その中には、鳥獣の捕獲による植生の保全も含まれていますが、まずは環境整備の一環として山のゴミ拾いから始めようと思います。

清掃活動の様子はいずれ報告させていただきます。

※1月中の狩猟活動は、お休みとしました。

文・治部 太一

自然観察指導員
NACS-J

公益財団法 日本